

Q11

ノロウイルスに有効な消毒薬にはどのようなものがありますか？

A

ノロウイルスは、冬季の感染性胃腸炎の主要な原因となるウイルスで、以前はノーウォークウイルスや小型球形ウイルスと呼ばれていましたが、2002年国際ウイルス学会でノロウイルスと命名されました。ノロウイルスは他のウイルスや細菌に比べて消毒薬や熱に対して抵抗性が強いといわれています。ノロウイルスに有効な消毒薬には、次亜塩素酸ナトリウムが知られています。ノロウイルスは組織培養でも培養が難しく、ノロウイルスと近縁のネコカリシウイルスが代替ウイルスとして用いられています。ネコカリシウイルスに対して有効な消毒薬には、グルタラール、過酢酸、ポビドンヨードなどがあり、四級アンモニウム塩(塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム)などは無効です。また、消毒用エタノールは効果が弱いといわれています。

表 主要ウイルスに対する消毒薬の消毒効果

消毒薬	ノロウイルス	ネコカリシウイルス	ロタウイルス
消毒用エタノール	—	△	△
ポビドンヨード	—	○	○
塩化ベンザルコニウム	—	×	×
塩化ベンゼトニウム	—	×	×
グルコン酸クロルヘキシジン	—	—	×
次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○
グルタラール	—	○	○
過酢酸	—	○	○

○：有効 △：効果得られないことがある ×：無効 —：データなし
 (東京都福祉保健局³⁾より、一部改変)

文献

- 1) 辻 明良監修：きちんと感染管理。全国社会福祉協議会，2005
- 2) 東京都新たな感染症対策委員会監修：東京都感染症マニュアル，東京都，2005
- 3) 東京都福祉保健局編：社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル，第3版，2006.1

(辻 明良)